

平成25年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーⅠのご案内

「顎関節症の患者立脚型の治療体系」

平成25年度同窓会学術企画第1弾「顎関節症の患者立脚型の治療体系」の募集案内をさせていただきます。

顎関節症は歯科臨床を行う際、かならず遭遇する疾患です。今回の学術セミナーは最新の顎関節症の治療体系についての講演を企画いたしました。講師はこの分野でご活躍されている新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部の荒井良明先生にお願いしました。荒井先生はこの分野の一線でご活躍されているとともに、若手歯科医師の教育も熱心にされています。講演に加えて、簡単な患者評価スケールの使用方法や、クリックの診断基準等の小実習も予定しております。先生方におかれましては奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、本年度の第2弾のセミナーにつきましてはそれぞれの分野で活躍されている2名の講師による講演を2本立てで予定しております。こちらにつきましても、ご検討くださいますようお願いいたします。尚、第2弾のセミナーにつきましては次回同窓会定期通信で詳細のご案内および募集となります。ご了承下さい。

日程	平成25年5月26日(日) 10:00~12:30(終了予定)
形式	講義・小実習
会場	新潟大学歯学部大会議室(2階)
定員	50名
参加費	3,000円(テキスト代等を含む)
申し込み方法	4ページに記載
振り込み先	受講申し込み受付票に指定の口座
締め切り	平成25年5月10日(金)
問い合わせ先	同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯科歯学部同窓会

「顎関節症の患者立脚型の治療体系」

2010年3月に米国歯科研究学会（AADR）は、顎関節症（TMD）の診断と治療に関する基本声明を発表しました。治療に関して抜粋すると「TMD 患者の治療の第一選択は、保存的で可逆的かつ証拠に基づく治療法とすることが強く薦められる。多くの TMD 患者の自然経過を調べた研究により、TMD は時間経過とともに改善し、治癒していく疾患であることが示唆されている」というものです。

日本補綴歯科学会は、本声明が現時点における最も標準の見解であり、これに従って顎関節症の診断と治療が行われるかぎり、それが多くの顎関節症患者にとって福音となるものと認め、ホームページに掲載し普及を図っています。

これまで顎関節症の原因は“誤った下顎位”あるいは“不正咬合”にあると信じられてきました。そのため治療は、下顎位の修正や咬合調整、関節円板の整復に囚われたものが主流で、そのように教育を受けた歯科医師が多いかと思えます。

ところが1980年代からの画像検査技術の進歩に伴い、顎関節症の理解が飛躍的に進展し、治療概念が大きく変化しました。

現在の治療概念として重要な点は以下の3つです。①顎関節症の原因は多因子性である。②顎関節症は癌のような進行性の病気ではなくSelf-limiting、すなわち多くの症状はいずれ寛解する。③顎関節症のほとんどは非侵襲的な保存療法で症状を改善することができる。

これらのことから、下顎位や咬合の修正をしても改善しない可能性があり、症状の多くが一時的であるならば、より侵襲性の少ない治療法を選択すべきであるというのが現在の顎関節症の診療ガイドラインです。

顎関節症の治療の目標は言うまでもなく、咬合異常の是正ではなく、患者の抱える疼痛と機能障害の除去にあります。

これまで多くの医療行為、例えば癌に対する治療は医療者側の評価である、生存率、治癒率といった“生物医学的アウトカム”からのみ評価されてきました。しかし、多様化した患者や家族の価値観や多種の治療法が確立してきた現在、患者の“主観”による評価である生活・生命の質、“患者立脚型アウトカム”から評価することの重要性が叫ばれています。

顎関節症で言えば、これまで理想咬合からの隔たりといった医師側の評価が主体に治療が進められてきましたが、今こそQOLを十分に評価した、患者立脚の治療体系に転換すべきです。

本セミナーでは、顎関節症の診断・治療に必要な医療者側の具体的な評価方法と、患者側に行ってもらった評価スケールについて資料を配布して、明日から患者立脚型の治療が実践できるようお話しさせていただきます。

これまで敬遠されがちであった顎関節症の治療ですが、基本声明に沿った保存療法を取り入れていただき、先生方の歯科医院を訪れた顎関節症の患者が、1日でも早く疼痛と機能障害から開放されることの一助となれば幸いです。

講 師：

新潟大学医歯学総合病院 顎関節治療部 准教授 荒井 良明

タイムスケジュール：

9:30 受付開始

10:00～12:30 講演・小実習の後質疑応答

申し込み方法

- * セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- * メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- * 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- * 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項 氏 名：
出身大学：
何 年 卒：
住所(含郵便番号)：
電話番号：
メールアドレス：